

広島市教育委員会指導第一課の取組について

1 幼保小連携推進園・校について

(1) 目的

令和2年度から、本市の研究校として幼保小連携推進園・校を指定し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るため、カリキュラムの改善及び指導方法の工夫等、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について先行的・実践的な研究を行い、その成果を全市に普及する。

(2) 実施方法

ア 小学校以降のカリキュラムと連携・接続する「幼保小接続プログラム」の開発・実践を目指し、研究を推進するため、小学校に加配教員を1名配置し、幼稚園教育に携わるとともに、幼保小連携の充実に係る実践研究の中心的役割を担う。

イ スタートカリキュラム等の接続カリキュラムを実施するにあたり、教育活動の充実（幼稚園）、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫（小学校）、幼児と児童の特色ある交流活動などを計画的に推進する。

ウ 指定園・校

	ア	イ
令和2年度	川内幼稚園・小学校、山本幼稚園・小学校	
令和3年度	川内幼稚園・小学校、山本幼稚園・小学校 緑井幼稚園・小学校	
令和4年度	緑井幼稚園・小学校、船越幼稚園・小学校	山本幼稚園・小学校
令和5年度	船越幼稚園・小学校、中筋幼稚園・小学校	山本幼稚園・小学校、緑井幼稚園・小学校
令和6年度	中筋幼稚園・小学校	山本幼稚園・小学校、緑井幼稚園・小学校 船越幼稚園・小学校

(3) 中筋幼稚園・小学校の令和5年度の取組について

研究主題を「主体的に学びに向かう子供の育成～自ら関わり、感じ、考え、伝え合うことができる保育や授業を目指して～」とし、以下の取組を進めている。

ア 幼児・児童の「主体性」を育む取組

イ 発達のつながりやそれぞれの教育活動への理解に向けての取組

- ・ 互いの教育について理解する
- ・ 夏季合同研修を開催
- ・ 幼保小連携「学びの架け橋通信」の作成・配付
- ・ 交流の充実

ウ 連携から接続へと発展させるための取組

- ・ スタートカリキュラムの充実
- ・ 連携園・小学校接続会議の開催

2 幼保小連携推進委員会について

(1) 目的

各小学校区において幼保小の教職員が連携し、幼稚園・保育園・認定こども園等と小学校の滑らかな接続を図ることにより、幼児・児童に基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力などの確かな学力の育成を図る豊かで深い学びへとつなげるとともに、思いやりや規範意識などの豊かな人間性や社会性を育む。

(2) 内容

ア 接続カリキュラムの検討

イ 「園に行こう週間」の実施